

山梨県強靱化アクションプラン2022 重要業績指標(KPI)一覧

● 進捗率評価

対象となる大規模自然災害	対策名(最悪の事態)	No	重要業績指標(KPI)	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R3目標値に対する進捗率 (R3実績値-初期値)/(R3目標値-初期値)	評価	計画最終年度目標値	計画最終年度目標値 (R6目標値) 達成見込み
						R1	R2	R3	R3			R6	達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
地震	耐震化等の対策 (1-1) (1-2)	1	私立学校の耐震化率	私学・科学振興課、子育て政策課	県民7	89.6%	89.0%	89.1%	93.8%	-11.9%	C	100%	耐震化の補助事業があるものの、学校にも相当の負担が生じること等から、計画どおり進んでいない。既存の補助事業の活用を働きかけるとともに、「公教育における私学のあり方に関する検討委員会」などにおいて対策について検討を行い、早急に方針を決めることとする。
		2	県内病院(60病院)の耐震化完了施設数	医務課	福祉14	50病院	51病院	51病院	52病院	50.0%	C	53病院	耐震改修工事には多額の経費がかかるが、実施意向のある病院が現時点で8施設(うち着工済み1施設)あることから、目標達成に向け引き続き該当病院に対し、国補助金などの支援策について周知等を行い目標達成を目指す。
		3	国、県、市町村道での電線類地中化の整備延長	道路整備課、道路管理課、都市計画課	県土10	134km	137km	144km	146km	83.3%	B	167km	R3の目標値を概ね達成しているところであり、今後も引き続きR6の目標達成に向け進捗をはかる。
		4	緊急輸送道路の橋梁及び跨線橋・跨道橋の耐震化率	道路管理課	県土16	46%	48%	51%	50%	125.0%	A	64%	順調に進捗しており、R6の目標値を達成できる見通し。(R9目標値:100%)
		5	長寿命化のために必要な補修に着手した橋梁の割合	道路管理課	県土17	22%	36%	40%	38%	112.5%	A	66%	順調に進捗しており、R6の目標値を達成できる見通し。(R9目標値:100%)
		6	防災公園整備計画における防災活動拠点の機能強化に必要な都市公園施設の整備率 ※新規設定	都市計画課	県土35	—	—	45% (初期値)	—	—	—	100%	計画的に施設整備を行い、目標達成を目指す。
		7	県営住宅の長寿命化住戸数	住宅対策室	県土48	463戸	493戸	543戸	540戸	103.9%	A	630戸	順調に進捗しており、R6の目標値を達成できる見通し。
		8	国・県指定有形文化財(建造物)のうち今後耐震補強が必要となる97件の耐震対策実施棟数	文化振興・文化財課	観光4	14棟	16棟	17棟	16棟	150.0%	A	20棟	例年並みの予算を確保できれば、進捗状況に大きな遅延はなく、目標達成は可能である。

● 進捗率評価

対象となる大規模自然災害	対策名(最悪の事態)	No	重要業績指標(KPI)	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R3目標値に対する進捗率 (R3実績値-初期値)/(R3目標値-初期値)	評価	計画最終年度目標値	計画最終年度目標値(R6目標値)達成見込み
						R1	R2	R3	R3			R6	達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
地震	土砂災害等による陸の孤島化対策 (1-5) (2-1) (2-2) (5-3)	9	水道施設の耐震化整備率	衛生業務課	福祉24	74.7%	75.9%	—	R2 77.5%	42.9%	C	84.7%	市町村等水道事業者の財政状況が厳しく整備の進捗に遅れが生じていることから、国に対して更なる財政措置(補助率の引き上げや採択基準の緩和)を要望していく。加えて、耐震化率向上に向けて、県として市町村等水道事業者にどのような支援ができるか、他県の状況も見ながら今後検討していく。
		10	生活必需物資(食料)提供にかかる協定締結社数 ※新規設定	産業政策課	産業3	15社	19社	20社	20社	100.0%	A	23社	大規模小売店舗立地法の対象事業者をはじめ関係事業者に協定締結を働きかけることで、目標達成が見込まれる。
		11	山地災害危険地区の対策地区	治山林道課	林政8	2,338地区	2,353地区	2,369地区	2,368地区	103.3%	A	2,416地区	例年並みの予算を確保できれば、進捗状況に大きな遅延はなく、目標達成は可能である。
		12	災害時の代替輸送路線延長	治山林道課	林政10	265.5km	267.5km	270.4km	268.4km	169.0%	A	272.4km	例年並みの予算を確保できれば、進捗状況に大きな遅延はなく、目標達成は可能である。
		13	山村地域集落の孤立防止路線延長	治山林道課	林政10	83.5km	84.6km	87.1km	85.3km	200.0%	A	87.6km	例年並みの予算を確保できれば、進捗状況に大きな遅延はなく、目標達成は可能である。
		14	林道施設の補修箇所数	治山林道課	林政11	153箇所	165箇所	172箇所	177箇所	79.2%	C	209箇所	令和3年度は補修に想定以上の事業費を要したことから進捗に遅延を生じたものの、今後例年並みの予算を確保できれば、進捗状況に大きな遅延はなく、目標達成は可能である。
		15	治山施設の補修箇所数	治山林道課	林政12	104箇所	112箇所	115箇所	113箇所	122.2%	A	R4 123箇所	例年並みの予算を確保できれば、進捗状況に大きな遅延はなく、目標達成は可能である。
		16	防災重点ため池の耐震対策済み箇所数	耕地課	農政12	39箇所	43箇所	47箇所	47箇所	100.0%	A	63箇所	防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画に基づき、計画的に整備を進めている。現在進捗状況に遅延はなく、例年並みの予算を確保できれば目標達成は十分可能である。
		17	土砂災害等を防ぐ農業用施設、農村防災施設等の整備箇所数	耕地課	農政13	32箇所	35箇所	38箇所	38箇所	100.0%	A	47箇所	市町村の地域防災計画に基づき、計画的に整備を進めている。現在進捗状況に遅延はなく、例年並みの予算を確保できれば目標達成は十分可能である。
		18	基幹農道の橋梁等の施設の保全対策を実施した箇所数 ※新規設定	耕地課	農政16	0施設	2施設	3施設	3施設	100.0%	A	8施設	個別施設計画に基づき、計画的に整備を進めている。現在進捗状況に遅延はなく、例年並みの予算を確保できれば目標達成は十分可能である。
19	荒廃農地解消面積	担い手・農地対策課、耕地課	農政18	2,435ha	2,631ha	2,886ha	2,710ha	164.0%	A	3,100ha	山梨県荒廃農地対策指針に基づき、計画的に解消を進めている。現在の進捗に遅滞はなく、現状の施策において荒廃農地の発生防止・解消に取り組むことにより、目標達成は概ね可能である。		
20	緊急輸送道路となる幹線道路の整備延長(新規整備箇所) ※新規設定	道路整備課、高速道路推進課、都市計画課	県土4	1.3km	4.0km	19.4km	19.4km	100.0%	A	31.0km	順調に進捗しており、R6の目標値を達成できる見通し。		



● 進捗率評価

対象となる大規模自然災害	対策名(最悪の事態)	No	重要業績指標(KPI)	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R3目標値に対する進捗率 (R3実績値-初期値)/(R3目標値-初期値)	評価	計画最終年度目標値	計画最終年度目標値(R6目標値)達成見込み
						R1	R2	R3	R3			R6	達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
すべての災害に関連する事項	救助・救急活動体制、医療・救護活動体制の充実強化(2-3)	32	個別避難計画を策定した市町村数(一部策定済含む) ※新規設定	防災危機管理課	防災16	14市町村	16市町村	16市町村	16市町村	100.0%	A	25市町村	令和4年度から市町村の策定を支援する新規事業を行っており、目標達成は可能である。
		33	養成・確保した救急救命士数	消防保安課	防災46	277人	290人	297人	297人	100.0%	A	327人	進捗状況に著しい遅延はなく、目標達成は概ね可能。しかし、安定した救急救命士数を確保するため、今後も養成をしていく必要がある。
		34	県内病院(60病院)の耐震化完了施設数 【再掲】	医務課	福祉14	50病院	51病院	51病院	52病院	50.0%	C	53病院	耐震改修工事には多額の経費がかかるが、実施意向のある病院が現時点で8施設(うち着工済み1施設)あることから、目標達成に向け引き続き該当病院に対し、国補助金などの支援策について周知等を行い目標達成を目指す。
		35	都道府県災害医療コーディネート研修受講者数	医務課	福祉17	20人	24人	27人	26人	116.7%	A	35人	国の養成研修に計画的に受講者を推薦することにより、目標達成は可能と考える。
		36	散水不要なランデブーポイント整備箇所数	医務課	福祉19	219箇所	225箇所	231箇所	232箇所	85.7%	B	238箇所	協定を締結している「県内ゴルフ場支配人会」を通じて協力依頼を行うことにより目標達成を目指す。
		37	患者受入調整のネットワークが整備できた圏域数 ※新規設定	健康増進課	福祉30	—	—	0圏域 (初期値)	—	—	—	5圏域	透析医会、地区医師会、保健所、市町村との協議をとおり、モデル圏域を設定しネットワークを整備する。その後、各圏域での検討を進めるよう段階的に整備していくことで、目標達成を目指す。
	食料の安定供給(5-4)	38	生活必需物資(食料)提供にかかる協定締結社数 ※新規設定 【再掲】	産業政策課	産業3	15社	19社	20社	20社	100.0%	A	23社	大規模小売店舗立地法の対象事業者をはじめ関係事業者と協定締結を働きかけることで、目標達成が見込まれる。
		39	荒廃農地解消面積 【再掲】	担い手・農地対策課、耕地課	農政18	2,435ha	2,631ha	2,886ha	2,710ha	164.0%	A	3,100ha	山梨県荒廃農地対策指針に基づき、計画的に解消を進めている。現在の進捗に遅滞はなく、現状の施策において荒廃農地の発生防止・解消に取り組むことにより、目標達成は概ね可能である。
		40	果樹産地等における基盤整備面積	耕地課	農政19	4,400ha	4,501ha	4,602ha	4,600ha	101.0%	A	4,900ha	基盤の整備は、市町村、地元負担を伴う事業であることから、市町村や地元関係者と協議のうえ、計画的な整備を進めている。現在進捗状況に遅延はなく、例年並みの予算を確保できれば目標達成は十分可能である。
		41	基幹的農業水利施設の整備箇所数	耕地課	農政15	18箇所	27箇所	30箇所	30箇所	100.0%	A	40箇所	個別施設計画に基づき、計画的に整備を進めている。現在進捗状況に遅延はなく、例年並みの予算を確保できれば目標達成は十分可能である。

● 進捗率評価

対象となる大規模自然災害	対策名(最悪の事態)	No	重要業績指標(KPI)	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R3目標値に対する進捗率 (R3実績値-初期値)/(R3目標値-初期値)	評価	計画最終年度目標値	計画最終年度目標値(R6目標値)達成見込み
						R1	R2	R3	R3			R6	達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
すべての災害に関連する事項	エネルギー供給体制の強化(6-1)	42	国、県、市町村道での電線類地中化の整備延長【再掲】	道路整備課、道路管理課、都市計画課	県土10	134km	137km	144km	146km	83.3%	B	167km	R3の目標値を概ね達成しているところであり、今後も引き続きR6の目標達成に向け進捗をはかる。
		43	FCV(燃料電池自動車)等導入台数	環境・エネルギー政策課	環境4	30台	40台	—	50台	—	—	700台	車両価格が高価で、水素ステーションの整備が不十分であることから、全国的にも導入が進んでおらず、本県においても同様の状況であるため、目標の達成は困難。FCV(燃料電池自動車・バス)に限らず、電気自動車等を含めた目標への見直しを検討する。
		44	FCV(燃料電池バス)等導入台数	環境・エネルギー政策課	環境4	0台	0台	0台	0台	—	—	2台	車両価格が高価で、水素ステーションの整備が不十分であることから、全国的にも導入が進んでおらず、本県においても同様の状況であるため、目標の達成は困難。FCV(燃料電池自動車・バス)に限らず、電気自動車等を含めた目標への見直しを検討する。
		45	住宅用太陽光発電(10kW未満)の導入出力	環境・エネルギー政策課	環境3	R1.12 135,407kW	R2.12 143,921kW	R3.12 153,470kW	151,750kW	110.5%	A	174,500kW	順調に進捗しており、目標値を達成できる見込み。
		46	小水力発電推進事業における施設の整備地点数	電気課	企業2	4地点	5地点	5地点	5地点	100.0%	A	8地点	現在の整備計画は概ね予定通り進捗しており、目標値を達成できる見通し。
		47	自立電源機能が追加された県営水力発電所が所在する市町村数 ※新規設定	電気課	企業4	—	0市町村 (初期値)	1市町村	1市町村	100.0%	A	4市町村	現在の整備計画は概ね予定通り進捗しており、目標値を達成できる見通し。
	地域交通ネットワークの維持(6-3)	48	災害時の代替輸送路線延長【再掲】	治山林道課	林政10	265.5km	267.5km	270.4km	268.4km	169.0%	A	272.4km	例年並みの予算を確保できれば、進捗状況に大きな遅延はなく、目標達成は可能である。
		49	山村地域集落の孤立防止路線延長【再掲】	治山林道課	林政10	83.5km	84.6km	87.1km	85.3km	200.0%	A	87.6km	例年並みの予算を確保できれば、進捗状況に大きな遅延はなく、目標達成は可能である。
		50	林道施設の補修箇所数【再掲】	治山林道課	林政11	153箇所	165箇所	172箇所	177箇所	79.2%	C	209箇所	令和3年度は補修に想定以上の事業費を要したことから進捗に遅延を生じたものの、今後例年並みの予算を確保できれば、進捗状況に大きな遅延はなく、目標達成は可能である。
		51	基幹農道の橋梁等の施設の保全対策を実施した箇所数 ※新規設定【再掲】	耕地課	農政16	0施設	2施設	3施設	3施設	100.0%	A	8施設	個別施設計画に基づき、計画的に整備を進めている。現在進捗状況に遅延はなく、例年並みの予算を確保できれば目標達成は十分可能である。

● 進捗率評価

対象となる大規模自然災害	対策名(最悪の事態)	No	重要業績指標(KPI)	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R3目標値に対する進捗率 (R3実績値-初期値)/(R3目標値-初期値)	評価	計画最終年度目標値	計画最終年度目標値(R6目標値)達成見込み
						R1	R2	R3	R3			R6	達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
すべての災害に関連する事項	地域交通ネットワークの維持(6-3)	52	緊急輸送道路となる幹線道路の整備延長(新規整備箇所) ※新規設定 【再掲】	道路整備課、高速道路推進課、都市計画課	県土4	1.3km	4.0km	19.4km	19.4km	100.0%	A	31.0km	順調に進捗しており、R6の目標値を達成できる見通し。
		53	広域的な幹線道路の寸断に備えたリダンダンシーを有する道路網の整備延長(新規整備箇所) ※新規設定 【再掲】	道路整備課	県土7	0.0km	2.3km	16.3km	16.3km	100.0%	A	23.6km	順調に進捗しており、R6の目標値を達成できる見通し。
		54	道路防災危険箇所の対策箇所数 【再掲】	道路管理課	県土14	30箇所	35箇所	41箇所	40箇所	110.0%	A	55箇所	順調に進捗しており、R6の目標値を達成できる見通し。
		55	緊急輸送道路の橋梁及び跨線橋・跨道橋の耐震化率 【再掲】	道路管理課	県土16	46%	48%	51%	50%	125.0%	A	64%	順調に進捗しており、R6の目標値を達成できる見通し。(R9目標値:100%)
		56	長寿命化のために必要な補修に着手した橋梁の割合 【再掲】	道路管理課	県土17	22%	36%	40%	38%	112.5%	A	66%	順調に進捗しており、R6の目標値を達成できる見通し。(R9目標値:100%)
		57	DID地区内(人口集中地区)の都市計画道路の整備延長 ※新規設定	都市計画課	県土36	1.1km	1.4km	1.5km	1.4km	133.3%	A	1.8km	順調に進捗しており、R6の目標値を達成できる見通し。
	防災教育・普及啓発の推進(リスクコミュニケーション)	58	地域防災リーダー養成講座受講者数	防災危機管理課	防災10	6,044人	6,329人	6,577人	6,629人	91.1%	B	7,529人	コロナ感染症対策などのため、養成講座の受講者数を計画のとおり進捗できなかったが、講座の開催方法などを変更する事により、目標達成は可能である。

● 進捗率評価

対象となる大規模自然災害	対策名(最悪の事態)	No	重要業績指標(KPI)	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R3目標値に対する進捗率 (R3実績値-初期値)/(R3目標値-初期値)	評価	計画最終年度目標値	計画最終年度目標値(R6目標値)達成見込み
						R1	R2	R3	R3			R6	達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
その他最悪の事態に係る事項	(2-7:劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生)	59	個別避難計画を策定した市町村数(一部策定済含む) ※新規設定 【再掲】	防災危機管理課	防災16	14市町村	16市町村	16市町村	16市町村	100.0%	A	25市町村	令和4年度から市町村の策定を支援する新規事業を行っており、目標達成は可能である。
		60	水道施設の耐震化整備率 【再掲】	衛生業務課	福祉24	74.7%	75.9%	—	R2 77.5%	42.9%	C	84.7%	市町村等水道事業者の財政状況が厳しく整備の進捗に遅れが生じていることから、国に対して更なる財政措置(補助率の引き上げや採択基準の緩和)を要望していく。加えて、耐震化率向上に向けて、県として市町村等水道事業者にどのような支援ができるか、他県の状況も見ながら今後検討していく。
		61	患者受入調整のネットワークが整備できた圏域数 ※新規設定 【再掲】	健康増進課	福祉30	—	—	0圏域 (初期値)	—	—	—	5圏域	透析医会、地区医師会、保健所、市町村との協議をとおし、モデル圏域を設定しネットワークを整備する。その後、各圏域での検討を進めるよう段階的に整備していくことで、目標達成を目指す。
	(5-1:サプライチェーンの寸断等による企業の生産力低下による経営の悪化や倒産)	62	県内中小企業の「事業継続力強化計画」認定数	産業政策課	産業1	—	195社 (初期値)	477社	400社	137.6%	A	1,000社	事業者への事業継続力強化計画の周知及び策定支援を引き続き行うことで、目標達成が見込まれる。
		63	「事業継続力強化支援計画」策定数	産業政策課	産業2	—	2団体 (初期値)	15団体	10団体	162.5%	A	25団体	未作成の団体に対して計画策定に向けた取組の促進を図ることで、目標達成が見込まれる。
	(5-2:エネルギー供給の停止による、社会経済活動・サプライチェーンの維持への基大な影響)	64	小水力発電推進事業における施設の整備地点数 【再掲】	電気課	企業2	4地点	5地点	5地点	5地点	100.0%	A	8地点	現在の整備計画は概ね予定通り進捗しており、目標値を達成できる見通し。
	(6-2:長期にわたる上水道等の供給停止や汚水処理施設の機能停止)	65	水道施設の耐震化整備率 【再掲】	衛生業務課	福祉24	74.7%	75.9%	—	R2 77.5%	42.9%	C	84.7%	市町村等水道事業者の財政状況が厳しく整備の進捗に遅れが生じていることから、国に対して更なる財政措置(補助率の引き上げや採択基準の緩和)を要望していく。加えて、耐震化率向上に向けて、県として市町村等水道事業者にどのような支援ができるか、他県の状況も見ながら今後検討していく。
		66	下水道管路施設の耐震化率 【再掲】	下水道室	県土42	77.4%	81.0%	88.0%	86.0%	123.3%	A	97.0%	順調に進捗しており、R6の目標値を達成できる見通し。
		67	温泉施設整備率	企業局総務課	企業1	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	100.0%	A	R4 100%	R4年度の完成により、計画は達成する見込み。整備完了後において、機能を維持するための管理が必要。

● 進捗率評価

対象となる大規模自然災害	対策名(最悪の事態)	No	重要業績指標(KPI)	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R3目標値に対する進捗率 (R3実績値-初期値)/(R3目標値-初期値)	評価	計画最終年度目標値	計画最終年度目標値(R6目標値)達成見込み
						R1	R2	R3	R3			R6	達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
その他最悪の事態に係る事項	(7-1:沿線・沿道の建物倒壊に伴う閉塞、地下構造物の損壊等に伴う陥没による交通麻痺)	68	下水道管路施設の耐震化率【再掲】	下水道室	県土42	77.4%	81.0%	88.0%	86.0%	123.3%	A	97.0%	順調に進捗しており、R6の目標値を達成できる見通し。
	(7-2:ため池、防災インフラ、天然ダム等の損壊・機能不全や堆積した土砂・火山噴出物の流出による多数の死傷者の発生)	69	防災重点ため池の耐震対策済み箇所数【再掲】	耕地課	農政12	39箇所	43箇所	47箇所	47箇所	100.0%	A	63箇所	防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画に基づき、計画的に整備を進めている。現在進捗状況に遅延はなく、例年並みの予算を確保できれば目標達成は十分可能である。
	(8-1:大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態)	70	豪雨災害等に対応した災害廃棄物処理計画を策定した市町村数 ※新規設定	環境整備課	環境6	—	0市町村(初期値)	3市町村	6市町村	50.0%	C	17市町村	進捗に遅れが出ているが、令和3年度目標値未達成の3市町村については計画案までは策定済みであり、令和4年度には当該市町村を含めた8市町村で策定が予定されている、目標達成に向け、今後も引き続き必要な支援、助言をしていく。
	(8-2:復旧・復興を担う人材等(専門家、コーディネーター、労働者、地域に精通した技術者等)の不足、地域コミュニティの崩壊等により復旧・復興が大幅に遅れる事態)	71	地域防災リーダー養成講座受講者数【再掲】	防災危機管理課	防災10	6,044人	6,329人	6,577人	6,629人	91.1%	B	7,529人	コロナ感染症対策などのため、養成講座の受講者数を計画のとおり進捗できなかったが、講座の開催方法などを変更する事により、目標達成は可能である。
		72	個別避難計画を策定した市町村数(一部策定済含む) ※新規設定【再掲】	防災危機管理課	防災16	12市町村	16市町村	16市町村	16市町村	100.0%	A	25市町村	令和4年度から市町村の策定を支援する新規事業を行っており、目標達成は可能である。
	73	消防団員の充足率	消防保安課	防災48	92.6%	91.9%	93.1%	93.1%	100.0%	A	94.0%	進捗状況に著しい遅延はなく、各市町村において団員確保の対策に取り組むことで、目標達成は概ね可能。今後も、団員確保が円滑に行われるよう市町村に支援や助言を行う。	
(8-3:貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化財の衰退・損失)	74	国・県指定有形文化財(建造物)のうち今後耐震補強が必要となる97件の耐震対策実施棟数【再掲】	文化振興・文化財課	観光4	14棟	16棟	17棟	16棟	150.0%	A	20棟	例年並みの予算を確保できれば、進捗状況に大きな遅延はなく、概ね目標達成が可能である。	

● 達成率評価

対象となる大規模自然災害	対策名(最悪の事態)	No	重要業績指標(KPI)	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R3目標値に対する達成率	評価	計画最終年度目標値	計画最終年度目標値(R6目標値)達成見込み
						R1	R2	R3	R3	R3実績値/R3目標値		R6	達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
地震	耐震化等の対策(1-1)(1-2)	1	県地震防災訓練参加機関・団体数	防災危機管理課	防災27	中止	62団体/年	54団体/年	54団体/年	100.0%	A	60団体/年	進捗状況に著しい遅延はなく、目標達成は概ね可能である。
		2	小中学校の避難所運営マニュアル策定率	義務教育課	教育6	99.6%	100%	—	—	—	R6目標値達成済	100%	小・中学校での避難所運営マニュアルの作成は100%に達しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止や地域の災害リスクを踏まえたマニュアルにするために、市町村の防災担当課と連携して、マニュアルの見直しを行う。
		3	県立学校(高等学校・特別支援学校)の避難所運営マニュアル策定率	高校教育課	教育10	92.0%	92.3%	92.6%	100%	92.6%	B	100%	未達成となっている2校について、既に避難所としての受け入れ体制を整えているが、避難所として使用するための市町村による協定締結の手続きが遅れている状況。目標達成に向けて、引き続き市町村と調整を行っていく。
	土砂災害等による陸の孤島化対策(1-5)(2-1)(2-2)(5-3)	4	森林整備の実施面積	森林整備課、県有林課	林政3	6,248ha/年	6,174ha/年	6,345ha/年	6,350 ha/年	99.9%	B	6,657ha/年	現在、進捗状況に著しい遅延はなく、例年並みの予算を確保できれば、進捗状況に大きな遅延はなく、目標達成は可能である。
		5	保安林整備事業等の実施面積	治山林道課	林政9	475ha/年	487ha/年	507ha/年	500ha/年	101.4%	A	500ha/年	例年並みの予算を確保できれば、進捗状況に大きな遅延はなく、概ね目標達成が可能である。
すべての災害に関連する事項	救助・救急活動体制、医療・救護活動体制の充実強化(2-3)	6	支援航空隊員の訓練実施回数	消防保安課	防災53	9回/年(年4.5回/1人)	中止	5回/年(年1.7回/1人)	18回/年(年6回/1人)	27.8%	C	18回/年(年6回/1人)	コロナ感染症対策やヘリコプターの故障など、想定外のことがあり、進捗に遅延が生じているが、訓練内容の検討などを行い、目標達成を目指す。
		7	消防設備士義務講習の受講者数	消防保安課	防災56	296人/年	290人/年	305人/年	280人/年	108.9%	A	280人/年	今後も受講者数が確保できるよう、引き続き講習参加への啓発活動を行うことで目標値達成は概ね可能。
		8	危険物取扱者保安講習の受講者数	消防保安課	防災56	1,187人/年	1,172人/年	1,208人/年	1,130人/年	106.9%	A	1,130人/年	今後も受講者数が確保できるよう、引き続き講習参加への啓発活動を行うことで目標値達成は概ね可能。
		9	災害拠点病院(10病院)の指定要件(病院機能を維持するための3日分の燃料備蓄、水を確保)を維持している病院数	医務課	福祉21	8病院	10病院	10病院維持	10病院維持	100.0%	A	10病院維持	今後も災害拠点病院へ必要な支援を行うことにより、目標数値の維持は可能と考える。
	食料の安定供給(5-4)	10	多面的機能支払交付金による取り組み面積	農村振興課	農政11	7,555ha/年	7,643ha/年	7,680ha/年	7,640ha/年	100.5%	A	7,700ha/年	現在進捗状況に遅延はなく、例年並みの予算を確保できれば目標達成は概ね可能である。しかしながら、活動組織の高齢化に伴い、活動自体に加え関係書類や組織を取りまとめる人材の不足が顕在化しているため、今後は組織の広域化などを推進していく。
	エネルギー供給体制の強化(6-1)	11	木質バイオマスのエネルギー利用量	林業振興課	林政4	67千m3/年	83千m3/年	78千m3/年	92千m3/年	84.8%	B	113千m3/年	現在、進捗状況に著しい遅延はなく、目標達成は概ね可能である。目標達成に向け、令和4年度から林地残材など未利用材の運搬支援を実施することにより、エネルギー利用を促進していく。
	防災教育・普及啓発の推進(リスクコミュニケーション)	12	防災安全センター利用者数(出張講座等含む)	防災危機管理課	防災14	34,347人/年	10,900人/年	14,379人/年	33,408人/年	43.0%	C	34,420人/年	コロナ感染症対策などのため閉館期間があり、利用数は減少しているが、感染症対策に沿った、出張講座のメニューや回数を増やし、目標達成を目指す。

● 達成率評価

対象となる大規模自然災害	対策名 (最悪の事態)	No	重要業績指標(KPI)	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R3目標値に対する達成率 R3実績値/R3目標値	評価	計画最終年度 目標値	計画最終年度目標値 (R6目標値) 達成見込み
						R1	R2	R3	R3			R6	達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
その他最悪の事態に係る事項	(2-7:劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生)	13	小中学校の避難所運営マニュアル策定率【再掲】	義務教育課	教育6	99.6%	100%	—	—	—	R6目標値達成済	100%	小・中学校での避難所運営マニュアルの作成は100%に達しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止や地域の災害リスクを踏まえたマニュアルにするために、市町村の防災担当課と連携して、マニュアルの見直しを行う。
		14	県立学校(高等学校・特別支援学校)の避難所運営マニュアル策定率【再掲】	高校教育課	教育10	92.0%	92.3%	92.6%	100%	92.6%	B	100%	未達成となっている2校について、既に避難所としての受け入れ体制を整えているが、避難所として使用するための市町村による協定締結の手続きが遅れている状況。目標達成に向けて、引き続き市町村と調整を行っていく。
	(5-2:エネルギー供給の停止による、社会経済活動・サプライチェーンの維持への甚大な影響)	15	水力発電による供給電力量	電気課	企業3	497,337,171kWh/年	463,604,958kWh/年	413,936,776kWh/年	470,000,000kWh/年	88.1%	B	480,000,000kWh/年	実績は降水量に影響されるが、発電所の停止を最小限にとどめ、目標値を達成する見通し。今後も各発電設備・施設の計画的な改修・補修と共に最大限の取水に取り組み、電力を安定的に供給していく。
	(7-4:農地・森林等の荒廃による被害の拡大)	16	企業・団体の年間森づくり活動箇所数	森林整備課	林政2	61箇所/年	57箇所/年	68箇所/年	84箇所/年	81.0%	B	R5 90箇所/年	新型コロナウイルス感染症の影響もあり進捗に遅延が生じたものの、目標達成に向け活動の趣旨等について、より一層企業団体への周知等を行っていく。
		17	森林整備の実施面積【再掲】	森林整備課、県有林課	林政3	6,248ha/年	6,174ha/年	6,345ha/年	6,350 ha/年	99.9%	B	6,657ha/年	現在、進捗状況に著しい遅延はなく、例年並みの予算を確保できれば、進捗状況に大きな遅延はなく、目標達成は可能である。
		18	木質バイオマスのエネルギー利用量【再掲】	林業振興課	林政4	67千m3/年	83千m3/年	78千m3/年	92千m3/年	84.8%	B	113千m3/年	現在、進捗状況に著しい遅延はなく、目標達成は概ね可能である。目標達成に向け、令和4年度から林地残材など未利用材の運搬支援を実施することにより、エネルギー利用を促進していく。
		19	木材生産量	林業振興課	林政6	223千m3/年	227千m3/年	213千m3/年	255千m3/年	83.5%	B	290千m3/年	現在、進捗状況に著しい遅延はなく、目標達成は概ね可能である。目標達成に向け、木材生産や木材のサプライチェーンにおけるICTの導入を推進することにより、生産性・効率性の向上に繋げ、木材の増産を促していく。
		20	保安林整備事業等の実施面積【再掲】	治山林道課	林政9	475ha/年	487ha/年	507ha/年	500ha/年	101.4%	A	500ha/年	例年並みの予算を確保できれば、進捗状況に大きな遅延はなく、概ね目標達成が可能である。
		21	年間新規就農者数	担い手・農地対策課	農政1	307人/年	314人/年	321人/年	330人/年	97.3%	B	340人/年	現在進捗状況に著しい遅延はなく、目標達成は概ね可能。しかしながら、農業従事者数は減少しており、引き続き新規就農者を安定的に確保していくために、就農希望者のニーズに応じた技術研修や農業体験の機会を更に拡充させていく。
		22	6次産業化サポートセンターでの6次産業化事業の新規取組数	果樹・6次産業振興課	農政7	10件/年	10件/年	10件/年	10件/年	100.0%	A	10件/年	関係機関で連携し、6次産業化等に取り組む事業者への専門家指導等により、目標は達成されている。例年並みの国の予算が確保されれば、目標年度においても目標は達成される見込み。
23	多面的機能支払交付金による取り組み面積【再掲】	農村振興課	農政11	7,555ha/年	7,643ha/年	7,680ha/年	7,640ha/年	100.5%	A	7,700ha/年	現在進捗状況に遅延はなく、例年並みの予算を確保できれば目標達成は概ね可能である。しかしながら、活動組織の高齢化に伴い、活動自体に加え関係書類や組織を取りまとめる人材の不足が顕在化しているため、今後は組織の広域化などを推進していく。		

● 達成率評価

対象となる大規模自然災害	対策名(最悪の事態)	No	重要業績指標(KPI)	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R3目標値に対する達成率 R3実績値/R3目標値	評価	計画最終年度目標値	計画最終年度目標値(R6目標値)達成見込み
						R1	R2	R3	R3			R6	達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
その他最悪の事態に係る事項 <small>(8-2: 復旧・復興を担う人材等(専門家、コーディネーター、労働者、地域に精通した技術者等)の不足、地域コミュニティの崩壊等により復旧・復興が大幅に遅れる事態)</small>	(8-3: 貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化財の衰退・損失)	24	多面的機能支払交付金による取り組み面積【再掲】	農村振興課	農政11	7,555ha/年	7,643ha/年	7,680ha/年	7,640ha/年	100.5%	A	7,700ha/年	現在進捗状況に遅延はなく、例年並みの予算を確保できれば目標達成は概ね可能である。しかしながら、活動組織の高齢化に伴い、活動自体に加え関係書類や組織を取りまとめる人材の不足が顕在化しているため、今後は組織の広域化などを推進していく。
		25	企業・団体の年間森づくり活動箇所数【再掲】	森林整備課	林政2	61箇所/年	57箇所/年	68箇所/年	84箇所/年	81.0%	B	R5 90箇所/年	新型コロナウイルス感染症の影響もあり進捗に遅延が生じたものの、目標達成に向け活動の趣旨等について、より一層企業団体への周知等を行っていく。
		26	森林整備の実施面積【再掲】	森林整備課、県有林課	林政3	6,248ha/年	6,174ha/年	6,345ha/年	6,350 ha/年	99.9%	B	6,657ha/年	現在、進捗状況に著しい遅延はなく、例年並みの予算を確保できれば、進捗状況に大きな遅延はなく、目標達成は可能である。
		27	保安林整備事業等の実施面積【再掲】	治山林道課	林政9	475ha/年	487ha/年	507ha/年	500ha/年	101.4%	A	500ha/年	例年並みの予算を確保できれば、進捗状況に大きな遅延はなく、概ね目標達成が可能である。

区分ごとの項目数の割合 ※R4. 7. 22時点

区分	該当項目数	割合
A : 達成 (進捗100%以上)	40	70.2%
B : 概ね達成 (進捗80%以上)	10	17.5%
C : 未達成 (進捗80%未満)	7	12.3%

※64項目の重要業績指標のうち、令和3年度を初期値として新規設定した指標等を除く57項目についての評価結果